作業日誌

ベナン共和国

ウアケ地方　ウアケ郡

ククルンダ村公立幼稚園のため２教室、事務室、トイレ付の建物の建設

2023年８月７日　月曜

午前９時に連帯のアクション会の会長・ベノイト・D・アーロンス氏、親御さんの代表のみなさん、ウアケ地方代表者、およびククルンダ村の住民のみなさんが全体会合に集まりました。歓迎挨拶のあと、ククルンダ村の公立幼稚園の建物、２教室、事務室、物置部屋、４人用トイレの建設のための契約書が朗読されました。

その後質疑応答がなされ、おしまいに契約の是非が問われました。続いてアーロンス氏から連帯のアクション会の技術者、左官、鋳物士、大工のみなさんの紹介が行われました。その後、関係者で建設予定地を見学しました。この会合は建築開始の基礎となります。アーロンス氏と私、ジャン・アゾムバキンはこのあと、まず必要な建設材料、砂、セメント、板材、小石、鉄材などの購入を開始しました。現場では板が届いたあとで、会の技術者が正確な建設地点に紐をめぐらしました。

2023 年 8 月 8 日　火曜

非常な早朝に左官の皆さんは基礎用 15 センチの厚みの穴無レンガ、建物の壁用穴あきレンガの製作を始めました。村の女性たちは作業員のところへ水をせっせと運びました。男たちは明日の早朝に基礎の溝堀りを開始すると約束しました。この日はカスアで市場があるという話でした。

2023 年 8 月 9 日　水曜

作業員のみなさんは計画通りに朝 8 時に現地へ登場、土の堀出し作業を開始しました。女性たちは建設現場へ作業に必要な水を運搬しました。レンガ製造は続けられ、鋳物士は基礎に敷く用鉄材と柱用の鉄筋を準備し、これで先に続く作業がスムーズに早く進むようにしました。

2023年8月10日　木曜

住民のみなさんが溝堀作業を終わらせるために来ました。さらに壁用レンガを造り、鋳物士も仕事をしました。

2023年8月11日　金曜

　午前8時ほどに左官のみなさんが基礎の溝の表面を平にして、セメントを流し入れました。そこにいた村人たちはトイレ用の穴を掘り始めました。鋳物士は作業を開始しました。現場では全てがうまく行きました。

2023年8月12日　土曜

今朝早く左官のみなさんが基礎穴の鉄筋の上へセメントを流し始めました。村人たちも作業に参加、女性たちは現場へ水を運び、男性たちはトイレ用の穴を掘りました。この日、私達は井戸が枯れていることに気づきました。そこで私達は現場から数メートル離れた所の人と交渉して、水が現場へ流れるようにホースと接続部品をいくつか買いました。

2023年8月14日　月曜

今朝、左官工たちは基礎壁を建て始め、下のアンカーの高さまで行いました。

2023年8月15日　火曜

今朝早く鋳物士は下のアンカーのための鉄材を設置し、大工さんたちは建物をめぐる板囲いを作り、左官たちはアンカーを一度にセメントで固めました。村人の数人はトイレ用穴堀りのために来ました。別の村人達は明日のための取決めをしました。今日はまたカスアで市が立つからです。

2023年8月16日　水曜

朝8時くらいに壁を窓のところまで高く積み上げる作業が始まりました。建物の横側には8段のレンガが積まれました。そこには窓がないからです。16時くらいに鋳物士が窓用の空きの下にアンカーをはめ込み、そこに大工さんが板囲いをこしらえ、そのあと中にセメントが流されました。ベランダの柱2本にも流されました。期待通りに村人は沢山来て、左官たちの手伝いをしました。（レンガを運ぶ、トイレの穴掘り、水の運搬）住民の皆さんが大勢で働いたおかげで、この場所での仕事はよく進展しました。

2023 年 8 月 17 日　木曜

左官さん方は上のアンカーのところまで壁を造り上げ、ベランダの二つの柱にセメントを流し入れました。作業は非常によく進展し、各自その役目を果たしていました。左官さん、鋳物士、大工と村人たち皆です。

2023 年 8 月 18 日　金曜

午前 8 時くらいから左官たちが残りの壁作りを進めました。ベランダの残りの柱とベランダ自体にもセメントが流され、建物の壁は上部のアンカーの所まで到達しました。村人たちは課題を果たすために来ました。トイレの穴は深さ 4，５メートルで出来上がりました。レンガが不足しないように、数トンの穴あきレンガ（１５ｃｍ）が作られました。

2023 年 8 月 19 日　土曜

今朝 8 時くらいから鋳物士たちは上部のアンカーのために鉄筋を入れ、大工さんたちは壁の板囲いを設置し始めました。けれども完成には至りませんでした。そのため、壁へのセメント流しは明日、日曜午前に延期となりました。時間を失わないために左官方は鋳物士たちと一緒にトイレ穴の作業にかかりました。トイレ小屋のためには、12 センチの穴あきレンガが作られました。

2023年8月20日　日曜

午前8時頃に大工たちは壁の板囲い作業を終えました。左官士たちはアンカーの箇所まで一度期にセメントを流し込みました。村人たちは各自の役目を果たすためにやってきました。

2023年8月21日　月曜

午前8時くらいに大工方が上部のアンカーの板囲いを外しました。左官士たちは建物のあらゆる面に付属的にレンガを補強しました。トイレの穴で一番目のアンカーの箇所まで壁が作られました。それどころか荷上げ台になる場所の作業も始まりました。補助の村人チームもいました。この作業日はとても素晴らしく、私は村長さん、そのアドバイザー、親代表会、そしていままでこのプロジェクト開始からずっと作業員のそばにいて関与してきた親代表会長にお祝いを言いました。私は本当にこの皆さんが素晴らしいと実感しました。

2023年8月22日

午前8時頃鋳物士たちが昨日立てられた壁に鉄筋を載せました。大工方は板囲いをこしらえ、左官工たちは屋根の下の最後のアンカーにセメントを流しました。荷上げ台のアンカーにも流されました。住民はわずか参加して、現場に水を運びました。

2023年8月23日　水曜

午前7時くらいに激しい雨が降り10時ぐらいまで続きました。雨が上がったあとに現場の作業は始まりました。大工たちは最後のアンカーの囲いをはずし、左官工たちは建物に4個の破風を作りました。作業の質に満足している住民との共同作業で、トイレ穴の最初のアンカーまでセメントを流しました。11時くらいにウアケの市長が、建設の進みぐあいを見に現場へやってきました。

市長はとても満足しておられました。市長は現場で到達した質の高さについて話しました。このおりに連帯のアクション会とククルンダ村民のみなさんをほめて下さいました。16時くいらいにウアケの地方高官が現場に来られ、作業の進捗状況を見聞しました。彼は作業のダイナミックな展開をほめ、村民に対して、一切がうまくいくように、作業の手伝いをするために現場にいるように要求しました。

2023 年 8 月 24 日　木曜

午前 6 時ごろ私達連帯の会の会長が現場の進み具合を見るために参りました。彼は作業員の仕事ぶりに非常に満足しました。続いて彼はそこで手伝っていた村人のみなさん方と話し、それから去っていきました。7 時くらいに雨が降り出し、9 時に止んだので、作業は再度開始されました。校舎のほうは、4 個目のアンカーのところまで 2 段か 3 段のレンガが高く積まれ、屋根のすぐ下は通風の空きが出来ます。トイレ穴では二番目のアンカーのところまでセメントが流されました。村人たちはずっと作業を手伝っていました。

2023 年 8 月 25 日　金曜

8 時ころに現場の作業が始まりました。校舎では 4 個目のアンカーの箇所のレンガ段の最後が積まれて終わりました。破風の柱へのセメント流しも済んで、校舎周辺にもセメントが流されました。これで校舎の作業は終了しました。

トイレの穴の方は 2 番目のアンカーの上まで壁が高くできました。

建設チームは子供たちのベンチやそのテーブルを作るのに精出していました。村長、親の代表およびククルンダの何人かの長老たちはいつもその場にいて村人を手伝い、村人が毎日直面する問題の解決に努めました。私は建設開始以来、毎日現場にいるウアケの地区長にお祝いを言いました。彼は個人的に奉仕していました。

2023 年 8 月 27 日日曜

8 時には鋳物士がトイレの底に封鎖板用の鉄筋を置き、セメントが流されました。午後 4 時くらいに左官公のみなさんがトイレ小屋の壁を封鎖板の上に作り始めました。

テーブルとイス用にもセメントが流されました。

2023年8月28日　木曜

早朝のうちに鋳物工たちがトイレ壁の上部アンカーのための鉄筋を設置しました。大工さんたちが壁の囲いを作り左官公たちがセメントを流しました。夕方17時にはアンカーの上まで壁が出来上がり、トイレ屋根用の斜めの断面も出来上がりました。

テーブルとベンチも出来上がりました。

2023年8月29日　火曜

今朝早く作業員のみなさんが全員、一時帰郷されました。壁は一月ほど乾燥期間が必要で、その後、屋根が作られます。数日後には他の作業員の方々が、ククルンダへ来て、ここで作業されるでしょう。

2023年9月4日から25日まで

壁が乾燥する間に村人たちは教室、事務室、物置部屋に砂を運び入れました。ちいさな子供たちも喜んで手伝いました。

このひまに私たちは建物の屋根用にアスベストを含まないエターニット板を探しました。9月20日に見つけ、これを買い入れました。

2023年9月25日　月曜

エタ―ニット板とドアや窓用雨戸はククルンダへ運送されました。

2023年9月26日　火曜

ククルンダの現場に大工たちが集まりました。屋根組用の黒檀材をウアケ周辺で探しました。買ったものを切断のために機械の場に運びました。

2023年9月30日　土曜

切断された板が現場に運ばれました。

2023年10月2日から4日

大工さん方が屋根の横支え材を設置し終わりました。

2023年10月4日　水曜

この日が終わるまでに横支えは完成し大引きも設置されました。

2023 年 10 月 6 日　金曜

大工さん方は屋根にエタ―ニット板をねじ固定し始めました。村人たちが手伝い、大工さん方に板を運び渡しました。

2023 年 10 月 7 日　土曜

建物の屋根が出来上がりました。

2023年10月8日　日曜

トイレ小屋にも屋根ができました。

<u>報告　ジャン・アゾムバキン</u>